

新しいカーライフの提案

家庭で充電
デンキのクルマ

EV・PHVという選択

電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド自動車（PHV）は、家庭で充電できることが最大の魅力！ガソリンスタンドでの給油待ちもなし。夜間電力を利用して充電すれば、家計の負担も軽減できます。お得な燃費でCO₂排出も大幅に削減！EV・PHVで新たなカーライフを満喫しましょう。

◆EV（電気自動車）

電気モーターを動力として走行する自動車で、家庭用電源から充電できる。平成22年4月からi-MiEVの一般販売が開始され、同年12月には、日産リーフの販売も開始された。

今後はさらに車種が増えていく予定。

◆PHV（プラグインハイブリッド自動車）

ハイブリッド自動車をベースに、家庭用電源から充電できる機能を追加するなどした電気自動車としても利用できるハイブリッド自動車。

平成24年の初頭に一般販売が開始。



ミニキャブ・ミーブ（三菱自動車工業）



日産リーフ（日産自動車）



プリウス プラグインハイブリッド（トヨタ自動車）

充電スタンドの設置場所

運転中に充電残量が少なくなったら、どこで充電しますか？県内には、すでに多くの充電スタンドが設置されています。以下のサイトから設置場所を検索し、安心してEVドライブを楽しみましょう！



充電スタンドの検索はこちら・・・

「あいちEV・PHVタウン」

aichi.ev-phv.jp

「あいちEV・PHV普及ネットワーク」

愛知県では、EV・PHVの本格的な普及に向けて、平成21年4月に、「あいちEV・PHV普及ネットワーク」を設立し、EV・PHVの率先導入、充電インフラの整備、普及啓発などに取り組んでいます。

ネットワークには、EV・PHVの普及に対して、積極的に連携・協力して取り組む多数の企業や自治体が参加しています。

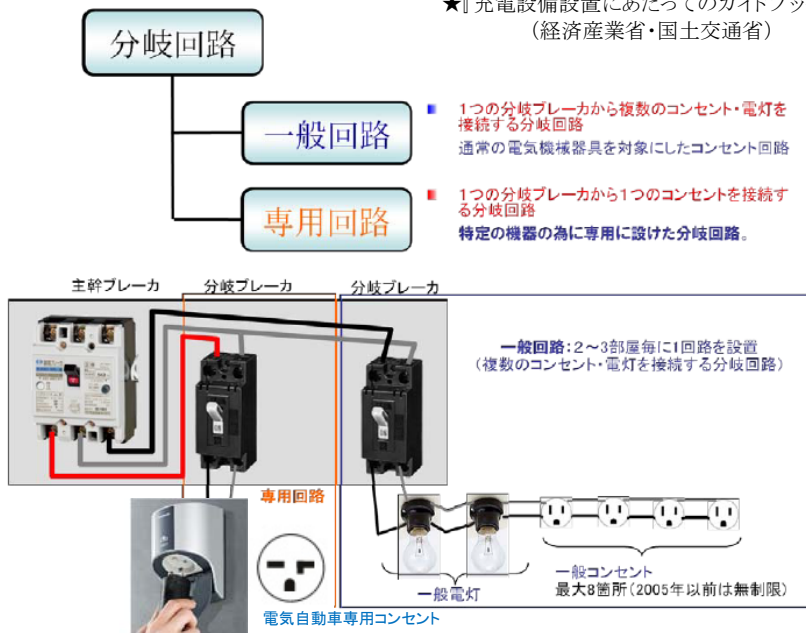


充電器の設置について

【戸建住宅の場合】

戸建住宅に充電器を設置する場合は、200V（又は100V）のコンセントが一般的です。その際は、漏電遮断器付きの分岐ブレーカーによる専用回路とし、アース接続を施すなど、コンセントは「電気自動車専用」とすることを推奨します。

<専用回路と一般回路>



<設置までの流れ(例)>

- ① 建物の所有者は、どこにコンセントを設置するか決定する。
- ② コンセントの種類を決定する。
(200V/100V) 200Vを推奨します!
- ③ 契約電力容量を確認する。
- ④ 電気工業者に相談する。
- ⑤ 必要に応じて電力会社に相談する。

★充電コンセントの設置を検討する場合には、購入するEV・PHVの自動車販売店にもご相談ください。

【分譲マンションの場合】

分譲マンションに充電器を設置する場合は、区分所有法(※)により設置工事に関する総会決議と、駐車場仕様細則等の変更が必要です。

※建物の区分所有等に関する法律

<設置までの流れ(例)>

★『充電設備設置にあたってのガイドブック』より
(経済産業省・国土交通省)

- ① 区分所有者は管理組合(理事会)に相談する。
- ② 管理組合(理事会)は、自らの契約電力、消費電力の傾向を検討した上で、電力供給の契約の変更を伴うかどうか等について、電気工業者経由で電力会社へ相談する。
- ③ 管理組合(理事会)は、どこにどのような充電設備を設置するか検討し、電気工事会社に設置工事費の見積り等を依頼する。
- ④ 管理組合(理事会)は、充電設備設置工事及び設置に伴う規約の変更等について、総会に議案として提出する。
- ⑤ 総会にて可決された場合、設置工事を行う。

【CHECK!】

- ・居住者のニーズはあるか?
- ・設置するスペースはあるか?
- ・管理会社の考えは?
- ・電力容量は十分か?



充電器・新型コンセント写真提供: パナソニック電工
イラスト提供: 素材ダス <http://sozaidas.com/>

あいちEV・PHV普及ネットワーク

事務局: 愛知県環境部大気環境課地球温暖化対策室 電話: 052-954-6217